



2021年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年10月29日

上場会社名 **小野薬品工業株式会社** 上場取引所 東
 コード番号 4528 URL <https://www.ono.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 相良 暁
 問合せ先責任者（役職名） 常務執行役員コーポレートコミュニケーション統括部長（氏名） 谷 幸雄（TEL）（06）6263-5670
 四半期報告書提出予定日 2020年11月6日 配当支払開始予定日 2020年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・証券アナリスト向け）
 （百万円未満四捨五入）

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	150,474	1.0	52,401	25.1	53,674	24.7	39,888	21.2	39,849	21.4	53,797	61.3
2020年3月期第2四半期	149,008	3.2	41,878	19.1	43,042	16.6	32,915	14.0	32,816	13.8	33,354	△28.4
	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益									
	円 銭		円 銭									
2021年3月期第2四半期	79.84		79.83									
2020年3月期第2四半期	64.58		64.57									

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	706,795	610,598	605,023	85.6
2020年3月期	673,444	568,022	562,484	83.5

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	22.50	—	22.50	45.00
2021年3月期	—	22.50	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	22.50	45.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	305,000	4.3	87,000	12.3	88,500	11.0	65,200	8.9	65,000	8.9	130.23

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年3月期2Q	528,341,400株	2020年3月期	528,341,400株
2021年3月期2Q	29,198,575株	2020年3月期	29,222,272株
2021年3月期2Q	499,132,780株	2020年3月期2Q	508,137,292株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料6ページ「(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当第2四半期の経営成績の概況	2
(2) 当第2四半期の財政状態の概況	5
(3) 当第2四半期のキャッシュ・フローの概況	5
(4) 今後の見通し	6
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	7
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	9
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(セグメント情報)	13
(重要な後発事象)	13
(継続企業の前提に関する注記)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当第2四半期の経営成績の概況

(単位：百万円)

	2020年3月期 第2四半期 連結累計期間	2021年3月期 第2四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上収益	149,008	150,474	1,466	1.0%
営業利益	41,878	52,401	10,523	25.1%
税引前四半期利益	43,042	53,674	10,632	24.7%
四半期利益 (親会社の所有者帰属)	32,816	39,849	7,033	21.4%

[売上収益]

売上収益は、前年同期比15億円（1.0%）増加の1,505億円となりました。

- ・抗悪性腫瘍剤「オプジーボ点滴静注」は、競合他社製品との競争が激化する一方、腎細胞がん、胃がんへの使用が堅調に推移したことに加え、食道がんへの使用が拡大したことにより、前年同期比23億円（4.8%）増加の491億円となりました。
- ・その他の主要新製品では、2型糖尿病治療剤「グラクティブ錠」は130億円（前年同期比2.3%減）、関節リウマチ治療剤「オレンシア皮下注」は109億円（同8.9%増）、糖尿病治療剤「フォシーガ錠」は105億円（同20.5%増）、アルツハイマー型認知症治療剤「リバスタッチパッチ」は41億円（同7.0%減）、血液透析下の二次性副甲状腺機能亢進症治療剤「パーサビブ静注透析用」は39億円（同11.9%増）、多発性骨髄腫治療剤「カイプロリス点滴静注用」は35億円（同19.8%増）となりました。
- ・長期収載品は、後発品使用促進策の影響を受け、末梢循環障害改善剤「オパルモン錠」は29億円（前年同期比35.4%減）、骨粗鬆症治療剤「リカルボン錠」は15億円（同41.3%減）、抗悪性腫瘍剤投与に伴う悪心・嘔吐治療剤「イメンドカプセル」は15億円（同67.8%減）となりました。
- ・ロイヤルティ・その他は、前年同期比17億円（4.1%）増加の440億円となりました。

[営業利益]

営業利益は、前年同期比105億円（25.1%）増加の524億円となりました。

- ・売上原価は、前年同期比1億円（0.2%）増加の418億円となりました。
- ・研究開発費は、6月以降、被験者登録を含めた開発活動を再開しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による新規治験での被験者登録開始の延期や、実施中の治験での被験者登録の中断等により治験費用が減少したことから、前年同期比52億円（16.8%）減少の257億円となりました。
- ・販売費及び一般管理費（研究開発費を除く）は、新型コロナウイルス感染症の影響による学術講演会の見直し、MRの医療機関訪問自粛などにより営業活動経費が減少したことから、前年同期比39億円（11.6%）減少の298億円となりました。

[四半期利益]（親会社所有者帰属）

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、税引前四半期利益の増加に伴い、前年同期比70億円（21.4%）増加の398億円となりました。

(研究開発活動)

当社グループは、「病気と苦痛に対する人間の闘いのために」という企業理念のもと、これまで克服されていない病気や、いまだ患者さんの治療満足度が低く、医療ニーズの高い疾患領域に挑戦し、独創的かつ画期的な医薬品の創製に向けて努力を積み重ねています。

現在、開発パイプラインには、オプジーボに加えて、抗体医薬品を含む抗がん剤の新薬候補化合物をはじめ、変形性関節症の治療薬候補などがあり、早期の上市に向けて開発を進めています。なかでも、がん治療の領域はアンメット・メディカル・ニーズが高いことから、重要な戦略分野と位置づけています。

創薬研究においては、特長のある生理活性脂質や独自の標的分子に着目して画期的な新薬候補化合物の創製を目指す創薬アプローチ「化合物オリエン特」をベースに、重点領域毎に設置している「オンコロジー研究センター」、「免疫ロジー研究センター」、「ニューロロジー研究センター」、「スペシャリティ研究センター」で、それぞれの疾患ノウハウを蓄積し、医療ニーズを適切に捉えることで、医療インパクトのある画期的新薬の創製につなげることに取り組んでいます。さらに、オープン・イノベーションをグローバルで積極的に展開し、世界最先端の技術や情報を取り入れ、世界トップクラスの研究者とのネットワークを構築するとともに、従来の低分子創薬に加え、抗体や細胞、ウイルスなどの生物製剤も利用することで、医療現場に革新をもたらす新薬の創製を目指します。また、ライセンス活動による有望な新薬候補化合物の導入にも努め、研究開発活動の一層の強化に取り組んでいます。

当第2四半期連結累計期間における研究開発活動の主な成果（第2四半期連結会計期間末以後のものを含む）は、以下のとおりです。

[開発品の主な進捗状況]

<がん領域>

「オプジーボ/ニボルマブ」（他剤との併用療法を含む）

胃がん

- ・本年5月、国内で「治癒切除不能な進行・再発の胃がん」を対象とした承認申請を行いました。

食道がん

- ・本年4月、韓国で「フッ化ピリミジン系薬剤およびプラチナ系薬剤を含む化学療法に不応または不耐の根治切除不能な進行・再発の食道扁平上皮がん」を効能・効果とした承認を取得しました。
- ・本年6月、台湾で「フッ化ピリミジン系薬剤およびプラチナ系薬剤を含む併用療法後に病勢進行が認められた根治切除不能な進行または再発の食道扁平上皮がん」を効能・効果とした承認を取得しました。

結腸・直腸がん

- ・本年9月、国内で「ヤーボイ」との併用療法について、「がん化学療法後に増悪した治癒切除不能な進行・再発の高頻度マイクロサテライト不安定性（MSI-High：microsatellite instability-High）を有する結腸・直腸がん」を効能・効果とした承認を取得しました。

悪性胸膜中皮腫

- ・本年10月、国内で「ヤーボイ」との併用療法について、「切除不能な進行・再発の悪性胸膜中皮腫」を対象とした承認申請を行いました。

腎細胞がん

- ・本年10月、国内で武田薬品工業株式会社が開発中のキナーゼ阻害剤「カボメティクス錠/カボザンチニブリンゴ酸塩」との併用療法について、「根治切除不能又は転移性の腎細胞がん」を対象とした承認申請を行いました。

小細胞肺がん

- ・本年10月、単剤および「ヤーボイ」との併用療法について、小細胞肺がんを対象としたフェーズⅢ試験を実施していましたが、戦略上の理由により中止しました。

用法及び用量

- ・本年9月、国内で単独投与時における1回480mgを4週間間隔で点滴静注（点滴静注時間：30分以上かけて）する用法及び用量の承認を取得しました。

「ベレキシブル錠/チラブルチニブ塩酸塩」

- ・本年8月、国内で「原発性マクログロブリン血症及びリンパ形質細胞リンパ腫」を効能・効果とした承認を取得しました。

「ONO-7912(CPI-613)/Devimistat」

- ・本年6月、がん代謝阻害薬「ONO-7912(CPI-613)/Devimistat」について、国内で「膵がん」を対象としたフェーズⅠ試験を開始しました。

「ONO-4687(BMS-986227)/Cabiralizumab」

- ・本年10月、抗CSF-1R抗体「ONO-4687(BMS-986227)/Cabiralizumab」は、膵がんを対象としたフェーズⅡ試験を実施していましたが、試験を中止しました。

<がん領域以外>

「パーサビブ静注透析用シリンジ/エテルカルセチド塩酸塩」

- ・本年6月、国内で新たに静注透析用シリンジ製剤の承認を取得しました。

「オノアクト/ランジオロール塩酸塩」

- ・本年6月、国内で「敗血症に伴う頻脈性不整脈（心房細動、心房粗動、洞性頻脈）」を効能・効果とした承認を取得しました。

「オンジェンティス錠/ONO-2370/オピカポン」

- ・本年6月、国内で「レボドパ・カルビドパ又はレボドパ・ベンセラジド塩酸塩との併用によるパーキンソン病における症状の日内変動（wearing-off 現象）の改善」を効能・効果とした承認を取得しました。

「フオイパン錠/カモスタットメシル酸塩」

- ・本年6月、国内で蛋白分解酵素阻害剤「フオイパン錠」について、新型コロナウイルス感染症に関するフェーズⅠ試験を開始しました。

「ONO-2910」

- ・本年6月、国内でシュワン細胞分化促進薬「ONO-2910」について、健康成人男性を対象としたフェーズⅠ試験を開始しました。

[ライセンス活動の状況]

- ・本年10月、韓国 SK Biopharmaceuticals社と、同社の抗てんかん薬である「Cenobamate」について、日本において独占的に開発および商業化するライセンス契約を締結しました。

(2) 当第2四半期の財政状態の概況

(単位：百万円)

	2020年3月期 連結会計年度末	2021年3月期 第2四半期 連結会計期間末	対前連結会計年度末 増減額
資産合計	673,444	706,795	33,351
親会社の所有者に帰属する持分	562,484	605,023	42,539
親会社所有者帰属持分比率	83.5%	85.6%	
1株当たり親会社所有者帰属持分	1,126.95円	1,212.12円	

資産合計は、前期末に比べ334億円増加の7,068億円となりました。

流動資産は、その他金融資産の減少があったものの、現金及び現金同等物や棚卸資産の増加などから15億円増加の2,268億円となりました。

非流動資産は、無形資産や繰延税金資産の減少などがあったものの、投資有価証券やその他の金融資産の増加などから318億円増加の4,800億円となりました。

負債は、未払法人所得税や仕入債務及びその他の債務の減少などから92億円減少の962億円となりました。

親会社の所有者に帰属する持分は、利益剰余金やその他の資本の構成要素の増加などから425億円増加の6,050億円となりました。

(3) 当第2四半期のキャッシュ・フローの概況

(単位：百万円)

	2020年3月期 第2四半期 連結累計期間	2021年3月期 第2四半期 連結累計期間	対前年同期 増減額
現金及び現金同等物の期首残高	59,981	69,005	
営業活動によるキャッシュ・フロー	34,875	31,314	△3,561
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,681	△4,033	△6,715
財務活動によるキャッシュ・フロー	△42,218	△12,488	29,730
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,662	14,793	
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響額	△247	3	
現金及び現金同等物の四半期末残高	55,072	83,800	

当第2四半期の現金及び現金同等物の増減額は、148億円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人所得税等の支払額198億円などがあった一方で、税引前四半期利益537億円などがあった結果、313億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出33億円、無形資産の取得による支出30億円などがあった結果、40億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額112億円などがあった結果、125億円の支出となりました。

(4) 今後の見通し

2020年5月12日に公表しました2021年3月期通期の連結業績予想を、下記のとおり修正します。

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正

(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位：百万円)

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前回公表予想(A)	303,000	80,000	82,000	61,100	61,000	121.04円
今回修正予想(B)	305,000	87,000	88,500	65,200	65,000	130.23円
増減額(B-A)	2,000	7,000	6,500	4,100	4,000	
増減率(%)	0.7	8.8	7.9	6.7	6.6	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	292,420	77,491	79,696	59,888	59,704	118.47円

売上収益は、ロイヤルティ・その他の売上収益が前回公表予想を下回る見込みですが、一方で、製品商品の売上収益はオプジーボ等が前回公表予想を上回って推移しており、前回公表予想に比べ20億円上方修正し3,050億円を予想しております。

売上原価は、前回公表予想に比べ25億円増加の840億円を予想しております。

研究開発費は、被験者登録を含めた開発活動を再開しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響が続くことから前回公表予想に比べ40億円減少の650億円を予想しております。

販売費及び一般管理費（研究開発費を除く）は、下期に新製品の上市および複数の効能の追加取得を予定しており、情報提供活動を強化してまいります。引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けることから前回公表予想に比べ30億円減少の670億円を予想しております。

以上の結果、当期の営業利益は870億円（前回公表予想比70億円増）、税引前利益は885億円（同65億円増）、当期利益は652億円（同41億円増）、親会社の所有者に帰属する当期利益は650億円（同40億円増）を予想しています。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的なスタンダードに基づく財務情報の開示により比較可能性を向上させ、株主、投資家や取引先など様々なステークホルダーの皆さまの利便性をはかることを目的として、2014年3月期から国際会計基準（IFRS）を適用しております。

3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2020年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	69,005	83,800
売上債権及びその他の債権	76,834	80,638
有価証券	614	2,350
その他の金融資産	30,800	5,936
棚卸資産	32,906	37,135
その他の流動資産	15,063	16,913
流動資産合計	225,222	226,772
非流動資産		
有形固定資産	114,628	113,813
無形資産	66,436	65,285
投資有価証券	137,670	152,553
持分法で会計処理されている投資	108	112
その他の金融資産	91,694	116,778
繰延税金資産	34,817	28,991
その他の非流動資産	2,871	2,491
非流動資産合計	448,222	480,023
資産合計	673,444	706,795

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2020年9月30日)
負債及び資本		
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	34,439	31,707
リース負債	2,188	2,044
その他の金融負債	450	444
未払法人所得税	20,346	14,545
引当金	20,721	20,721
その他の流動負債	13,185	12,096
流動負債合計	91,329	81,557
非流動負債		
リース負債	6,173	7,259
その他の金融負債	0	0
退職給付に係る負債	6,048	5,518
繰延税金負債	1,059	1,055
その他の非流動負債	813	808
非流動負債合計	14,093	14,640
負債合計	105,422	96,197
資本		
資本金	17,358	17,358
資本剰余金	17,229	17,209
自己株式	△44,737	△44,702
その他の資本の構成要素	48,030	60,654
利益剰余金	524,605	554,504
親会社の所有者に帰属する持分	562,484	605,023
非支配持分	5,538	5,575
資本合計	568,022	610,598
負債及び資本合計	673,444	706,795

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
要約四半期連結損益計算書

	(単位：百万円)	
	前第2四半期 連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上収益	149,008	150,474
売上原価	△41,668	△41,760
売上総利益	107,340	108,714
販売費及び一般管理費	△33,734	△29,817
研究開発費	△30,935	△25,733
その他の収益	420	365
その他の費用	△1,213	△1,127
営業利益	41,878	52,401
金融収益	1,586	1,403
金融費用	△425	△137
持分法による投資損益	3	6
税引前四半期利益	43,042	53,674
法人所得税	△10,126	△13,786
四半期利益	32,915	39,888
四半期利益の帰属：		
親会社の所有者	32,816	39,849
非支配持分	99	38
四半期利益	32,915	39,888
1株当たり四半期利益：		
基本的1株当たり四半期利益(円)	64.58	79.84
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	64.57	79.83

要約四半期連結包括利益計算書

	(単位：百万円)	
	前第2四半期 連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期利益	32,915	39,888
その他の包括利益：		
純損益に振り替えられることのない項目：		
その他の包括利益を通じて測定する 金融資産の公正価値の純変動	580	13,417
確定給付制度の再測定	137	515
持分法適用会社のその他の包括利益を 通じて測定する金融資産の公正価値の 純変動に対する持分	△5	△0
純損益に振り替えられることのない 項目合計	712	13,932
純損益にその後に振り替えられる 可能性のある項目：		
在外営業活動体の換算差額	△273	△23
純損益にその後に振り替えられる 可能性のある項目合計	△273	△23
その他の包括利益合計	439	13,909
四半期包括利益合計	33,354	53,797
四半期包括利益合計の帰属：		
親会社の所有者	33,266	53,754
非支配持分	89	43
四半期包括利益合計	33,354	53,797

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	利益剰余金	親会社の所有者に帰属する持分			
2019年4月1日残高	17,358	17,202	△38,151	61,852	499,088	557,350	5,386	562,736	
四半期利益					32,816	32,816	99	32,915	
その他の包括利益				450		450	△11	439	
四半期包括利益合計	—	—	—	450	32,816	33,266	89	33,354	
自己株式の取得			△29,584			△29,584		△29,584	
剰余金の配当					△11,568	△11,568	△3	△11,571	
株式報酬取引		14				14		14	
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				△460	460	—		—	
所有者との取引額等合計	—	14	△29,584	△460	△11,107	△41,138	△3	△41,142	
2019年9月30日残高	17,358	17,215	△67,735	61,841	520,797	549,477	5,471	554,948	

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	利益剰余金	親会社の所有者に帰属する持分			
2020年4月1日残高	17,358	17,229	△44,737	48,030	524,605	562,484	5,538	568,022	
四半期利益					39,849	39,849	38	39,888	
その他の包括利益				13,904		13,904	5	13,909	
四半期包括利益合計	—	—	—	13,904	39,849	53,754	43	53,797	
自己株式の取得			△2			△2		△2	
自己株式の処分		△38	38			0		0	
剰余金の配当					△11,230	△11,230	△6	△11,236	
株式報酬取引		18				18		18	
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				△1,280	1,280	—		—	
所有者との取引額等合計	—	△20	35	△1,280	△9,950	△11,215	△6	△11,221	
2020年9月30日残高	17,358	17,209	△44,702	60,654	554,504	605,023	5,575	610,598	

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：百万円)	
	前第2四半期 連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	43,042	53,674
減価償却費及び償却費	6,756	7,764
減損損失	85	-
受取利息及び受取配当金	△1,579	△1,317
支払利息	38	36
棚卸資産の増減額(△は増加)	1,746	△4,215
売上債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△2,909	△3,747
仕入債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△1,996	△76
引当金の増減額(△は減少)	3,514	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	277	211
その他	△57	△2,478
小計	48,917	49,852
利息の受取額	49	34
配当金の受取額	1,531	1,285
利息の支払額	△38	△36
法人所得税等の支払額	△15,584	△19,822
営業活動によるキャッシュ・フロー	34,875	31,314
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,919	△3,307
無形資産の取得による支出	△8,977	△2,998
投資の取得による支出	-	△450
投資の売却及び償還による収入	1,837	2,915
定期預金の預入による支出	△10,200	△30,335
定期預金の払戻による収入	25,200	30,200
その他	△260	△59
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,681	△4,033
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△11,554	△11,221
非支配持分への配当金の支払額	△3	△6
リース負債の返済による支出	△1,077	△1,260
自己株式の取得による支出	△29,583	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△42,218	△12,488
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,662	14,793
現金及び現金同等物の期首残高	59,981	69,005
現金及び現金同等物に係る為替変動による 影響額	△247	3
現金及び現金同等物の四半期末残高	55,072	83,800

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報)

当社グループの事業は医薬品事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。